

の為^{ため}に何^{なん}の為^{ため}に役所勤^{やくしよつと}めをされているのか訊^ききたくなります。(自^じ分の為^{ぶん})日本^{にほん}の中央^{ちゆうおう}省^{しやう}庁^{ちやう}が、
 それだけでは余^{あま}りにも悲^{かな}しいです。若^{わか}き頃^{ころ}は自^じ分^{ぶん}がよ^より良^{くに}い国^{つく}を作^{つく}るんだと、志^{こころざし}も高^{たか}かったの
 ではないかと思^{おも}います。そうあ^ほって欲^{ねが}しいと願^{ねが}います。いつごろから国民^{こくみん}が望^{のぞ}む形^{かたち}からズレて
 行^いくのでしょうか。障^{しょう}がい者^{しゃ}が望^{のぞ}む、他^{ほか}の者^{もの}との平^{びやうどう}等^{どう}はいつごろ叶^{かな}うのでしょうか？
 生^うまれてきて良^よかった、障^{しょうがい}害^{がい}をもったとしてもこの国^{くに}に住^すめて良^よかったと言^いえるのは、いつ頃^{ころ}
 なるのでしょうか？ 体^{からだ}に障^{しょうがい}害^{がい}があ^ならうが無^なかろうが、お互^{たが}いを認^{みと}め合^あい、共^{とも}に助^{たす}け合^あいなが
 ら楽^{たの}しく生^いきて人^{じんせい}生^おくを送^くれる国^{くに}に作^{つく}り上^あげて欲^ほしいものです。当^{とうじ}事^じ者^{だんたい}団^{どう}体^{たい}等^{どう}のロビ^{かつどう}ー活^{かつどう}動^{どう}の
 お陰^{かげ}で厚^{こう}労^{ろう}省^{しやう}案^{あん}を推^おし戻^{もど}すこと^{こと}もで^さきたそう^{そう}です。佐^さ藤^{とう}さん^{さん}が言^いってお^おられ^られるよ^ように現^{げん}時^じ点^{てん}
 では「骨^{こつ}格^{かく}提^{てい}言^{げん}を反^{はん}映^{えい}した法^{ほう}律^{りつ}に^にす^{する}入^{いり}口^{ぐち}が^ひ開^ひか^かれた。」^{じょうたい}という状^{じょう}態^{たい}で、本^{ほん}当^{とう}に反^{はん}映^{えい}さ^させるた^ため
 には引^ひき続^{つづ}きロビ^{かつどう}ー活^{かつどう}動^{どう}を全^{ぜん}国^{こく}的^{てき}な運^{うん}動^{どう}が^{ひつ}要^{よう}な^なのでし^しょう。今^{いま}一^{いち}度^ど、私^わ達^{たち}も力^{ちから}を合^あわ^あせて
 取^とり組^くんでい^いきま^まし^しょう。 代^{だい}表^{ひやう} 丸^{まる}子^こ博^{ひろ}司^し



2012年^{ねん}は飛^ひ躍^{やく}の年^{とし}でありますように、ぐっどらいふ大^お分^{おいた}はス^いタ^ちフ^{どう}一^い同^{どう}頑^{がん}張^ぱり^ばたいと思^{おも}います。

K・T

障^{しょうがい}者^{しゃ}総^{そう}合^{ごう}福^{ふく}祉^し法^{ほう} 全^{ぜん}国^{こく}キ^きャ^やラ^らバ^ぱンの勉^{べん}強^{きやう}会^{かい}に^い行^いっ^って^てき^きま^まし^した。^た



2012年1月15日(日) 別府市社会福祉会館にて障害者 総合福祉法 全国キャラバンの

勉強会 に行ってきました。 自立支援センターおおいた・CILゆびあ・自立生活センターぐ

っどらいふ大分の主催で約80人くらいの方が集まり、講師としてヒューマンネットワーク熊本

の野本義彦さんが親しみやすい、熊本弁で障害者 総合福祉法の骨格案を説明されました。 い

ろんな所 に行かれて講演会などをされているのでしゃべりが流暢 でとてもわかりやすく、ま

だ「変わるかもしれません？」の話 ではあったのですが、これからの障がい者制度改革に期待

をもてる そんな内容の勉強会だったような気がしました。

K・T

1月15日 総合福祉法に行きましたが、実は1月14日も社会福祉会館で昔の重度センター

で一緒だった押切さん達とオフサイトミーティングがあつて、2日連続で社会福祉会館に、出掛

けました。 昨日の声を生かすような感じの、今の福祉の実情を皆で見直すような会合で、こ

ういう会合に何回か行かせてもらって少しずつ内容が見えてきたような気がしました。でも、

完全にはまだ分からないと言うか、言いかえればすごい可能性を秘めている。今、社会、世界

のHOTな事なんだと思う。ターニングポイントってヤツでしょうか？いろいろな事が転換期かな

あ ☆ 辻井悟 ☆



夢の別府市自立生活へのみち



野田綾香

今回号から4回(1年間)に亘り、ぐっどらいふスタッフである野田綾香が自分の自立生活

を振り返り、経験してきた事を書いてくれることになりました。今回はぐっどらいふ大分

に来る前の福岡県ちくご市からのことを紹介 します。

私 が初めて自立生活を始めたのは、2008年の11月 筑後市からでした。昨年、残暑が

厳しい9月29日 自立生活二回目となる引っ越しをしてきた野田綾香です。

自立生活を始めた当初は、施設生活から抜け出せた安堵感で「これで健常者と変わらない、ごく普通の生活が送れる。」と胸を弾ませていました。 自立生活センターちくごの代表も一緒になって筑後市役所との重度訪問介護の時間数の交渉を行った結果、希望していた時間数を獲得できず、やむをえず一日平均7時間という時間を朝・昼・夜で割り振り、生活していくしかありませんでした。 ヘルパー派遣事業所は事情により自立生活センターちくごではなく、八女市の障害者施設が運営するヘルパーステーションを利用することになりました。しかし、そのヘルパーステーションの規則でヘルパーを利用する時間帯が原則、朝の8時～21時まででした。21時で終了するという事はその時間から翌朝の8時までトイレに行けない！といけないと言う事になってしまいます。いくらトイレの感覚が遠い私でも、さすがに10時間以上、トイレを我慢できないので他人介護という制度を利用し、自立生活センターちくごで23時半から30分間、就寝前の準備やトイレ介助に充て一日がようやく廻り始めました。それでもヘルパーが入らず一人で自宅にいる時間が長く、3時間あったのでその間は夏場でも極力、水分をとらずトイレを我慢していました。 自立生活を始めて施設と大きく変わった点の一つがありました。それは外出です。施設に入所していると、様々な規則があり、自分が行きたい場所には



なかなか行けませんでした。自立生活を始めてからは、それまで行けなかった場所やショッピングに出かけました。しかしそこでも、ヘルパー派遣の規則時間に縛られ、月に一・二回しか

行けませんでした。また有料の輸送車を利用するより一般の交通機関を使うほうが経済的に助かる現実があり、主に電車とバスで出かけていました。どこか気を張ってそんな生活サイクルで過ごし、それなりに充実した生活を送り「このまま筑後で生活していくのもありなのかな・・・」とも思ったりしたこともありました。しかし、この先、年を重ねていくことで障がいが重くなり、トイレの感覚が短くなった時、一日7時間では生活自体がなりたっていかないと考えるようになりました。・・・ 次号につづく

～2012年(ねん)ぐっどらいふ大分(おおいた)新年会(しんねんかい)～

2012年2月4日(土)ぐっどらいふ大分の新年会が遅ればせながら、カラオケ・シダックスで行われました。♪



～ぐっどらいふ大分の新年会に参加して～

10月1日から働きはじめてもうすぐ、半年が過ぎようとしています。今回、初めて当事者さんの新年会に参加させていただきました。日頃、見ている当事者さんの顔と違う顔が見られて大変、楽しかったです。魔法のドリンク(お酒)のお陰だと思います。次回、お誘いが来るのは、お花見かとひそかに楽しみにしています。

最後にこれからも、小池は小池なりに頑張って仕事をしていきたいと思います。きっと3月には介護福祉士の合格通知が来ている事だと思います。で、今年は福祉住環境コーディネーター2級を目指して頑張りたいと思います。 小池英里子♥



毎年恒例ですが、今回も酔っぱらって、訳が分からなくなってしまった人もいましたね(*^_^*)

時間が短かったせいか、カラオケを楽しめなかった人もいたのでは？ そんな人はまた、次回

の忘年会・新年会とかのカラオケにてたっぷり歌ってください。♪

K・T



～ 総合福祉法の勉強会へ行ってきました。～



2012年2月26日(日) 日出町の保健福祉センターにて、きょうされん大支部主催 あ

っとほうむふれいす後援の総合福祉法の勉強会がありました。講師として、熊本から篠原憲一

さんが来て下さり、障害者 総合福祉法の内容・骨格提言とこれまでの経緯、自立支援法や厚生

労働省 案との比較、各新聞社の記事で取り上げられた政府とのやり取りなど初めて参加された

方でも、すごくわかりやすい丁寧な内容のしゃべりかたでお話をされました。

今回の勉強会には日出町選出の県議会議員さんも来ていて、日出町は議員さんより意見書と

して提出していただくことになったそうです。 私達の声をおもいを届けることが重要だと今

一度、再確認した勉強会 だったと思いました。

K・T

～スギノイボウルでレッツボウリング～



2012年3月15日(木) 別府市のスギノイボウルでぐっどらいふ大分ボウリング大会が

開催されました。



楽しかったボウリング大会



3月15日に杉の井ボウルにて行われたボウリング大会に行きました。私は車椅子でボール投球

補助機を使うのが初めてでしたので、どうなることかと不安もありましたが、思わぬ事にストラ

イクが出た時にはビックリしました。それからボウリングのピンに向かう真剣な眼差しと結果

のギャップに一喜一憂する顔を観て楽しさが倍増し、泣き笑いしてしまいました。思わぬ発見の

連続に久しぶりに心の洗濯をさせていただきました。また、機会があったら是非、参加した

いと思いました。今度に入賞したいものですね♪

薄田ミキ



自立生活センターちくごの方たちと「うみたまご」に行ってきました。

3月23日(金)天気は生憎の雨。これから別府インターを出て現地に向かいますとの連絡が入り、

さあ^{しゅっぱつ}出発^{きょう}だ。今日は福岡県筑後^{ふくおかけんちくご}の自立生活センター^{じりつ せいかつ}ちくごの仲間^{ななかま}が日帰り^{ひがえ}レクリエーションで
 別府^{べつぷ}にやって来る。当初^くの予定^{とうしょ}は高崎山^{よてい たかさきやま}のお猿^{さる}が目的^{もくてき}だったが、天候不良^{てんこうふりょう}で急遽^{きゅうきよ}、うみたまご
 に変更^{へんこう}待つこと数分^ま、うちのキャラバン^{すうぶん}よりかなりグレード^{たか}の高いワンボックス^きでやって来たの
 は当事者^{とうじしゃ}5名^{めい}(車椅子^{くるまいす}4名^{めい})ベテランスタッフ^{めい}2名^{むか}、迎え撃つ^うぐっどらい^{こばやし}ふからは小林^{すすきだ}、薄田^{いしざき}、石崎^{いしざき}、
 渡辺^{わたなべ}やっぱりベテランスタッフ^{めいひさ}4名^{めい}久しぶりのうみたまご^{じこ}にこちら^{しょうかい}もわくわく、自己紹介^{じこ}もそ
 こここに館内^{かんにい}へショー^{じはん}のスタート^{かんにい}は12時半^{したが}、館内アナウンス^{した}に従^{たいてい}ってセイウチ^{たいじゅう}のショー^{たいじゅう}体重
 680^{びき}キのぶぶちゃん^{ふつきん}ともう1匹^なのパフォーマンス^{げんき}、腹筋^{いっぱい}と投げキッス^{いっぱい}、それに元気一杯^{げんき}のト
 レナー^{おんな}の女^この子^{いんしょうてき}が印象的^{さいご}、最後にセイウチ^{でき}にタッチ^よ出来る^{つぎ}のも良かった。次^{つぎ}はイルカ^{つぎ}のショ
 ー^{さいわい}一幸^{あめ}いに雨^あも上^{とくせつ}がり特設^{かんらんせき}の観覧席^みから観^{こと}る事^{でき}が出来^{すいちゆう}た。水中^{たかだか}から高々^{たかだか}とジャンプ^{すがた}する姿^{あつかん}は圧巻^{あつかん}、
 4匹^{ひき}のイルカ^{たち}達は頭良^{あたまよ}さそう。次^{つぎ}にアシカ^{つぎ}のパフォーマンス^{となり}、隣^{あいきょう}のラッコ^ふも愛嬌^{あいきょう}振りまいてい
 た。そんな^{じかん}こんな^まで時間^まはあつという^{ひとり}間に・・・あれ^{ひとり}っこれ^{ひとり}って一人^{ひとり}でうみたまご^いに行^いったと
 感想^{かんそう}になってますね。いやいや、ちゃんと車椅子^{くるまいす}押^おしましたよ。話^{はなし}もたくさん^{でき}出来ました。た
 だ、うみたまご^{せつび}の設備^{くろう}に苦労^{くろう}させられました。ショー^{あいだ}とショー^{いどう}の間^{あいだ}の移動^{いどう}がエレベーター^{いどう}にな
 るわけ^{せま}で、狭^{おそ}いし、遅^まいし待ち時間^まが嫌^{いや}でした。車椅子^{くるまいす}の移動^{いどう}をイメージ^{イメージ}した順路^{じゅんろ}を最優先^{さいゆうせん}に
 かんが^{かんが}て欲しい^ほところです。時代^{じだい}はユニバーサル^{ユニバーサル}なんだから、まあそれは次^{つぎ}のリニューアル^{リニューアル}に期待^{期待}
 しましょうか。というわけ^{ちくご}で、筑後^{ななかま}の仲間^{おおい}も大分^{わたしたち}の私達^{えがお}も笑顔^{笑顔}がいっぱい^{たの}、楽しい時間^{じかん}を過^すごす
 こと^{こと}事が^{だれ}できました。また、誰^こか来^こないかな・・・

すすきだはじめ
薄田一



ねん おおいたぎょうじよてい
2012年ぐっどらいふ大分行事予定

- ・ 4月(ぐびあサロン)相談&交流会 各週木曜日(スイーツづくり)

はなみかい
お花見会

- ・ 5月(ぐびあサロン)相談&交流会 各週木曜日(スイーツづくり)

じりつせいかつ
ILP(自立生活プログラム)

- ・ 6月(ぐびあサロン)相談&交流会 各週木曜日(スイーツづくり)

じりつせいかつ
ILP(自立生活プログラム)

じりつせいかつ おおいた
自立生活センターぐっどらいふ大分

じぎょう かつどう
事業・活動

しょう しゃしえんじぎょう
◎ 障がい者支援事業

- ・ ピアカウンセリング講座 (自立生活にいざなう力を回復するための手法)
- ・ 自立生活プログラム (障がい者の社会適応力向上事業)
- ・ セルフマネジメント支援 (自己選択と自己決定のお手伝い)
- ・ 情報提供・相談など ・ 情報紙「ぐびあ通信」の編集発送
- ・ 権利擁護 ・ 行政交渉 ・ ぐびあサロン

かいいんぼしゅう 会員募集

• ぐっどらいふ大分の趣旨に賛同し会の活動に参加される方は、会員登録をお願いいたします。

• 私たちの活動は、障がいの有無に関わらず対等な関係を目指します。

• どんなに重度の障がいがあっても、全ての人がその人生において、自ら決定することを最大限尊重され、決定したことに責任をおえる人生の主体者であることを周りの人達が認めていくこと、そして哀れみではなく福祉サービスの雇用者・消費者として援助を受けていく権利を認めていくことです。

『重度の障がい者が自分の意志で好きな地域に住み、自立生活が出来るようにサポートする』を理念として活動をしています。

• 正会員3,000円 年間(ぐっどらいふの活動に賛同し、積極的に参加する方)

• 個人賛助会員3,000円(1口)会の主旨に賛同して、金銭的、人材的にご支援下さる方・個人

• 団体賛助会員5,000円(1口)会の主旨に賛同して、金銭的、人材的にご支援下さる方・法人

※会費等についてはご相談にのります。

※ぐっどらいふ大分は会費で活動しておりますご寄付をお願いいたします。

大分銀行太陽の家支店 (普通) 口座番号 (5103347)

口座名義 (丸子博司) 口座名義フリガナ (マルコヒロシ)

じりつせいかつ
自立生活センターぐっどらいふ大分

へんしゅうこうき
<編集後記>

ぐーぶく君



あけましておめでとうございます。今年、辰年
 のぼり竜のように、みなさんが元気で景気が良く
 「調子いいよ！」って感じに今年行って欲しい
 と思いつつも、日本列島 寒波が何度も押し寄
 せ、記録的な大雪、ここ大分でも、みなさん
 口々に「今日は寒いね」の連発 おまけに各地
 インフルエンザが流行し、日本全国で患者数が
 多発、学級閉鎖などの幼稚園・小中学校

んなが、早くあったかくならないかなあ～と思っている今日この頃ではないのでしょうか？

私ごとでなんなんですが、最近の寒さはこの歳になって骨身にしみます。ヒートテックや

ほっカイロは、やってはいるんですが、夕方以降になるともう外に出たくありません。家で

焼酎をお湯割りで飲みすぎないように、ほどほどに飲んでベッドに上がって寝るのが一番で

す。お酒も若い頃に比べて、だいぶ弱くなりました。なんでも、ほどほどがいいですよ！

みなさん、ほどほどに、あまり無理をせず、体をいたわってこの寒い冬を乗り切ってください。

K・高比良



2012年1月から3月まで行われた行事、講演、勉強会、催し、研修など

- 1月 5日 仕事始め 11日 鏡開き 12日 当事者準備会
- 14日 オフサイトミーティング(社協) 15日 障害者総合福祉法(社協)
- 17日 福祉フォーラム 18日 別府市条例作業部会・担当者会議
- 23日～25日 CIL全国セミナー(岡山) 24日 ヘルパー会議
- 26日 サービス提供責任者会議 29日 ヒューマンネットワーク
- 熊本20周年講演
- 2月 11日 オフサイトミーティング(社協) 13日 福祉フォーラム
- 13日～17日 東京都相談支援従事者養成研修 20日 別府市条例呼びかけ委員会
- 22日 ヘルパー会議 23日 サービス提供責任者会議
- 24日 別府市条例作業部会 26日 総合福祉法勉強会(日出町)
- 3月 13日 ヘルパー会議 14日 自立支援協議会担当者会議
- 16日 福祉フォーラム 21日 サービス提供責任者会議
- 28日 別府市条例作業部会 30日 自立支援協議会全体会



ぐびあ通信

発行所
 自立生活センター ぐっどらいふ大分
 ぐびあ通信編集部
 〒874-0014
 大分県別府市亀川浜田町33組
 サクセスハイツマルコ 201
 TEL 00977-75-7775 FAX0 977-75-7763
 E-Mail goodlife@kfz.biglode.ne.jp

ぐびあ通信 新春号でした。

